虹のまち とやま医療生協

2017年7月号　No.411

〒931-8501 富山市豊田町1-1-8
☎076-441-8351 FAX 076-432-8031
ホームページアドレス
http://www.toyama-hcoop.com/
E-mail webmaster@toyama-hcoop.com
毎月１回発行
定価 １部30円（組合員の購読料は出資金に含まれています）
発行　富山医療生活協同組合

組織現況 2017年5月31日現在

組合員数
26,698 人

出資金総額
95,669万円

一人当たりの出資額
35,833 円

核兵器の禁止を

～ヒバクシャ国際署名を大きく広げよう～

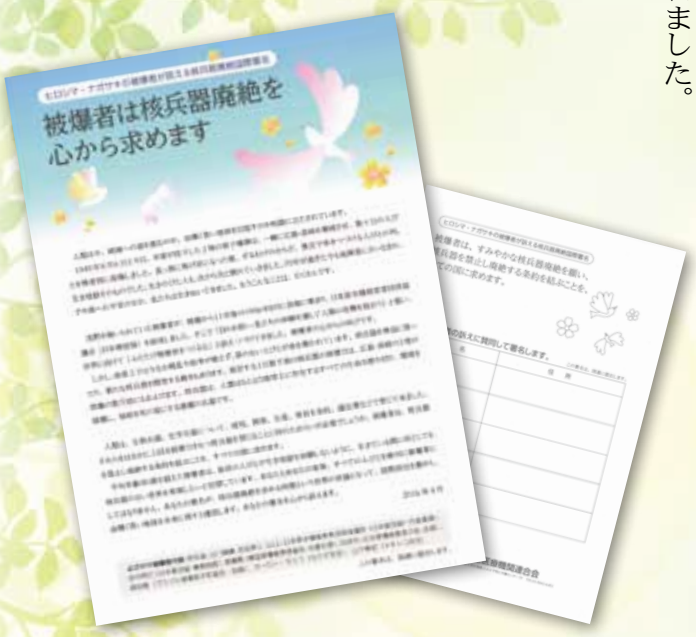
二〇一六年四月、「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」（ヒバクシャ署名）がスタートしました。平均年齢八〇歳を超える被爆者が「核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶこと」をすべての国に求めるこの署名には、「何としても核兵器のない世界を」と訴え続けてきた被爆者の心からの叫びが込められています。

世界の流れは核兵器禁止・廃絶に

三月に国連本部でおこなわれた核兵器禁止条約交渉会議・第一会期でされた議論をふまえ、議長団の国連大使から五月二十二日、核兵器禁止条約の草案が発表されました。

草案は核兵器の禁止・廃絶をうたったもので、核兵器をつくること、もつこと、使うことなどを禁止し、核兵器の違法化を求めています。

六月十五日からおこなわれている交渉会議・第二会期で審議・採択される見込みです。



署名が世界を変える

核兵器禁止条約実現への変化をつくりだしたのは、核兵器全面禁止を呼び掛けた「ヒロシマ・ナガサキアピール」に六千万筆を超えた賛同が寄せられたように、広島・長崎の被爆者をはじめ世界中の人々が、被ばくの実相をひろげ粘り強く運動を進めてきた結果です。

ヒバクシャ国際署名は、二〇二〇年までに世界中で数億筆をめざしています。富山医療生協では今年度五〇〇〇筆を目標に、「虹のまち」八月号にも署名用紙を折り込みます。是非、ご協力ください。

第六十四回通常総代会

協同の力で、いのちとくらしを支える事業と運動を創りあげましょう

第六十四回通常総代会が六月二十四日（土）、富山県農協会館において、総代、来賓、オブザーバー、役職員合わせて二四九名が参加して開催されました。

総代会は、全議案が全員一致で採択されました。

昨年度の「怒る富士」公演は約一〇〇〇人の参加の取り組みとなり、協同の力の確信となりました。今後も職員、組合員の協同の力を強め、「憲法を守る活動」「住民本位の地域包括ケア」をすすめていこうと確認しました。

討論では支部での担い手づくり、地域・行政との連携づくり、事業所と組合員の協同の取り組みなど豊かな経験が報告されました。

（二面に続く）

第23回富山医療生協

平和納涼まつり

日時　**7月22日（土）**
午後5時～7時30分

場所　在宅福祉総合センター
「ひまわり」駐車場

☆小雨でも開催します。

- ●ステージ企画　鵜坂鵜飼太鼓・原水禁世界大会壮行会・子どもステージ・オカリナ演奏・太極拳など
- ●平和企画展
- ●健康チェックコーナー　骨密度・足指力・血圧
- ●模擬店　おこわ・焼そば…etc
- ●お楽しみ抽選会

主催：富山医療生協平和納涼まつり実行委員会
TEL（076）441-8351

内視鏡

「平和新聞（日本平和委員会機関紙）」の一面に九十五歳から百二歳の方が三名談話と写真を載せている。いずれの方も戦前の「治安維持法」によって弾圧された方々だ。共謀罪法案（組織犯罪処罰法改定案）に反対し、国会内で記者会見をし、廃案を訴えたものだ▼『一般には及ぼさない』とは治安維持法制定の約束だった。共謀罪法案でも同じことを言っているが全く信用できない」「絵を描いた意図を（警察の）都合のいいように解釈し、人間の内心をねじ曲げて罪にしてしまう。表現の自由、行動の自由が制限されてしまう」「いま、首相が憲法を改定して軍隊を持っていいという方向へ進もうとしている。平和な日本を守るためにも断固阻止していただきたい」心からの訴えだ▼多くの疑問や問題点に答えないまま、この「共謀罪」法は強行採決された。人間の内面、思想や信条といった内心にまで踏み込んでくる「共謀罪」。▼表現行為はいちばん曖昧で多様な行為だ。多様で自由で豊かな情報流通が狭められてきている。年齢を超えた共闘で、悪法の本質を広く訴え続け、憲法に保障された自由を守り切ろう。（S）

全体討論では八名の発言がありました。その内二名の方の発言を紹介します。

「他団体訪問の中で」

林　佳子総代（やくし支部）

やくし支部では昨年、立山町の地域包括支援センターと立山北小学校の訪問を行いました。包括支援センター訪問の中では「たすけっとクラブ」の紹介と説明を行い、総合支援事業が進む中、たすけっとクラブにとても興味を示してくださりました。町のケアマネジャーの集まりにもよばれ、そこでもたすけっとクラブの紹介と説明を行いました。それから何度かたすけっとクラブを使用したいと介護事業所から依頼があり、少しずつですが、たすけあいの〝わ〟が広がっています。

十二月に立山北小学校に訪問し、小学校一、二、三年生九十六名に「あいうべ体操」、「キッズ健康チャレンジャー」の紹介を行いました。

あいうべ体操を紙芝居で説明すると、子どもたちは熱心に聞いてくれました。その後冬休みに入るので、チャレンジャーカードの記入とあいうべ体操の効果を記入した紙を渡し家族皆で続けてね！とお願いすると、冬休み後にはチャレンジャーカードが七十二枚も提出がありました。家族であいうべ体操を行った家庭もあり、あいうべ体操を普及した学年の子どもたちは一人もインフルエンザに罹ることがなかったとのことです。私たちもとても嬉しく元気をもらうことができました。この取り組みを今年度も続けていきたいです。

「終末期の看取りを行って」

唐島田美和子（在宅福祉総合センター　きずな）

入院された一人暮らしのAさんは「住み慣れた自宅で最期を迎えたい」との希望が強くありました。

主治医の「Aさんの希望を叶えよう」の言葉に背中を押され、往診、訪問看護やヘルパーとあらゆるサービスを組み込み、Aさんは自宅に帰りました。

自宅に帰ると入院中の不穏な様子が嘘のように落ち着きました。とはいえ訪問看護師が帰る時に「もう帰るんか」と寂しそうにいうAさん。Aさんと一緒にいて、手を握ってくれたり、辛そうな時に少しでも支えることができないか。そこで「たすけっとクラブ」に協力を求めました。たすけっと協力者の組合員Tさんは、快く引き受けてくださり、北島三郎のCDを一緒に聞いたりと心穏やかに過ごしてくれました。退院して自宅に戻り四日後にAさんは息を引き取りました。

介護・医療サービスだけでは限界があります。たすけっとクラブ、ボランティアと、医療生協だからこそ共に手をつなぎ在宅での看取りができたのだと思います。

退任挨拶

医療や介護に関しては、全くの門外漢でしたので、その事業を理解するのにたいへん苦労しました。通信教育で社会保障とは何か、学習できたことが唯一の成果かなと思います。

5期10年の長きにわたりました。それは周りの皆さんがどなたも優しく、人間愛に満ちていらっしゃったこと、そこに居心地のよさがあったということに尽きます。また、医療生協活動は大変新鮮な10年間でありました。

医療生協の掲げる、「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる」そのために地域まるごと健康づくりをする。地域住民と医療や福祉の専門家が協同する。多くの人々の参加で協同の“わ”を広げる。大変素晴らしい理念であります。

これからは、支部や班での居場所づくり。そして経営では、組合員が地域や事業所の中で、医療や介護の専門家の皆さんと緊張感をもって協同することが大切なのではないかと思います。10年も勤めてわからなかったこと、できなかったことを自省の念を込めて勝手ながら述べました。

今後は地域で頑張ることを申しまして退任の挨拶とします。

理事　湯島　修

退任理事

青山　美春（常勤）　理事十二期二十四年
池田　克己（虹の会）　理事七期十四年
塩嶋　靖夫（奥田東支部）　理事二期四年
島　美恵子（中央西支部）　理事五期十年
畠山　節子（南部支部）　理事一期二年
船田　和弘（滑川支部）　理事四期八年
古野　利夫（常勤）　理事二期四年
湯島　修（富南支部）　理事六期十二年

ご苦労様でした

理事・監事名簿

役職名	氏　名	重任・新任	住　所
理事	石川　丈夫	重	高岡市中川本町
〃	稲垣由佳子	重	富山市四ツ葉町
〃	茨木　克昌	重	富山市豊若町
〃	桶本　一栄	重	高岡市太田
〃	尾畑　光俊	重	富山市婦中町ねむの木
〃	角川　淳子	元	滑川市中町
〃	河辺　光伸	重	富山市上飯野新町
〃	北　恵子	重	魚津市吉島
〃	木下真理子	新	富山市開発
〃	子浦　章	重	富山市北代藤ケ丘
〃	柴　清子	重	富山市豊島町
〃	高嶋　峰子	重	滑川市中村
〃	武田　桂一	新	中新川郡舟橋村国重
〃	田中　桂子	重	富山市森
〃	土市けい子	重	富山市稲荷元町
〃	桝野　文子	重	富山市水橋立山町
〃	友椙　彰	元	富山市水橋高志園町
〃	西野キミエ	重	富山市五福
〃	平野登志子	重	富山市銀嶺町
〃	藤岡　清美	新	富山市中屋
〃	松尾　守	新	滑川市開
〃	水上　孝人	重	富山市豊田本町
〃	宮腰　幸子	重	射水市小島
〃	矢後　正孝	重	富山市四方荒屋
〃	山崎美保子	重	中新川郡上市町下経田
〃	山本　美和	新	射水市塚越
〃	与島　明美	重	富山市金山新東
監事	中田　幸子	重	富山市本郷町
〃	藤田　康雄	重	富山市二口町
〃	古澤　恭子	重	滑川市浜四ツ屋

第64回通常総代会　班・組合員表彰

班表彰

①班長がいる　②年6回以上開催（うち3回は健康チェック）　③計画表が出ている

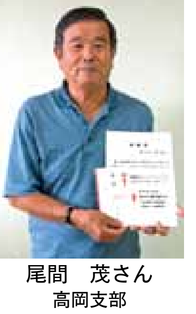
玉川　信子さん、福井　年子さん
浜黒崎支部　日々草班

岩瀬　すこやか
岩瀬　磯路
岩瀬　気楽
岩瀬　ふれあい軽スポーツ
浜黒崎　アネモネ
浜黒崎　日々草
萩浦　もりもり
萩浦　蓮町A
大広田　ぎんもくせい（銀嶺町）
大広田　シーサイド
大広田　田畑北部
とよた東　さつき
とよた東　米田班（田中）
とよた東　水落
とよた北　豊島ひまわり
とよた北　城川原
とよた北　県営住宅あおぞら
とよた北　温泉班
とよた北　犬島三丁目・ゆり
とよた北　四季の会
とよた北　コスモス
とよた北　犬島・大村
とよた中央　豊丘町
とよた中央　豊城町
とよた南　ピンポン
とよた南　なのはな
とよた南　手芸サークル野菊
とよた南　豊田本町三・四丁目
奥田東　粟島
奥田東　松若町
奥田北　下新北町長谷川
奥田　薔薇
奥田　奥田よつば
広田　上赤江住宅・小竹
広田　安澄美
広田　コスモスの会
新庄　オカリナハーモニカ班
新庄　かなのうす
新庄北　かたくりの会
新庄北　上飯野新町映画
新庄北　二〇〇円ランチの会
新庄北　トキメキ
新庄北　カラオケサークル
新庄北　脳いきいき民謡談話室
新庄北　入浴会
新庄北　パークゴルフ
新庄北　折り紙入浴班
山室　月曜会
山室　絵手紙ひばり
山室　マシーン班
山室　高原町ひまわり会
山室　青葉団地
山室　カトレア
中央西　ひなげし
南部　めぐみ
桜谷　石坂
桜谷　五艘・栗林
五福・神明　井田川①
五福・神明　井田川②
五福・神明　五福さくら
五福・神明　四区・ベジタブル
五福・神明　いきいきサークル
呉羽　高木
呉羽　北代
和合八重津　四方南町
和合八重津　さつき
和合ローズ　布目新町
和合ローズ　布目東町
和合ローズ　布目旭町
和合ローズ　杏子
高岡　三ヶ
高岡　伏木
高岡　古府
高岡　歩らりー
高岡　すまいる
高岡　体操教室
高岡　佐野
高岡　高美町
高岡　牧野
となみ野　万年青
となみ野　井波健康サロン
水橋　高志園町・友椙
水橋　高志園町・荻野
水橋西部　さわやかフィットネス
水橋西部　立山町
水橋西部　平成町
三郷　水橋中新町
上市　経田
上市　柳町
上市　自然房
滑川　ふれあいカフェ
やくし　あすなろ
やくし　あじさい

以上九十三班

個人表彰

（年間拡大5名以上拡大された方、順不同・敬称略）



尾間　茂さん
高岡支部

とよた中央　山崎　鈴枝　五名
とよた北　舟崎　芳子　七名
奥田東　太田　信子　五・五名
岩瀬　水上　雅美　六名
広田　米田江美子　九名
新庄北　才藤　抱一　十四名
新庄北　桝山茉莉子　五名
萩浦　水野　隆之　五・五名
南部　村井　和恵　五名
富南　本田　勲　五・五名
富南　石黒　孝子　六・五名
となみ野　吉田とみ子　十七名
五福・神明　宮越　政子　五名
五福・神明　宮川　幸子　七名
高岡　義基みゑ子　六名
高岡　尾間　茂　九名
高岡　吉田　洋子　十四名
和合八重津　桝野　洋　五名
三郷　中原　邦子　六名
水橋　尾島　富嶽　七名
水橋　友椙　彰　五・五名

（理事を除く二十一名が表彰されました）

第 64 回 通常総代会決定

2016年度 活動のまとめ

2017年 6月24日（土）

はじめに

医療生協創立55周年、東日本大震災復興支援記念「前進座特別公演・怒る富士」は、多くの協同の力で1,000名近くの入場者で大成功しました。演劇の感動とともに、医療生協運動の大きな確信となりました。

事業面では、病院での「地域包括ケア病床」の導入や看護小規模多機能型居宅介護「わたぼうし」を開設するなど、高齢者の健康とくらしを支える医療・介護事業に取り組んできました。

地域では、健康チャレンジャー参加の学校等の輪が広がり、地域包括支援センターへの継続的訪問や「つながりマップ」への取り組み等が特徴的でした。「たすけっとクラブ」もコーディネーターの全支部配置により協力者・利用者共に伸び、支部活動の前進と合わせて支え合いのまちづくりにも寄与しています。

2016年度 富山医療生協のあゆみ

4月	9-10:WHO世界保健デー(チンドン会場にて健康相談会646人) 25:地区別総代会議(4会場・151名)
5月	25-26:パークゴルフ予選会(183名) 26:新入職員歓迎会
6月	25:第63回通常総代会(中小企業研修センター248名)
7月	たすけっとクラブ説明会(4会場57人) 23:平和納涼まつり(500人)
8月	1:看護小規模多機能型居宅介護事業所「わたぼうし」開設 31:健康チャレンジャー実践交流会(36名)
9月	4-5:全日本共同組織活動交流集会(加賀・91名)
10月	WHOウオーキング(5会場・347人) 16:水橋健康まつり(300人) 17:パークゴルフ決勝大会(86人) 23:富山診療所健康まつり(200人)
11月	ブロック健康教室(4会場・128名) 13:協立病院まつり(300人) 22:保健講座(東B担当・29名)
1月	26:くらしの学校(77名)
2月	9:前進座特別公演「怒る富士」(948人) 虹のバレンタイン行動(17か所183人参加)
3月	4:組合員のつどい(140名)

1 いのちとくらしを支えることができる事業基盤をつくりあげること

①中重介護度・認知症・在宅での看取り・生活支援のリハビリ機能などへの対応では、看護小規模多機能型居宅介護事業所「わたぼうし」は、安心して在宅で療養生活できるように、地域に密着した24時間の切れ目のない「通い」「泊まり」「訪問（看護・介護）」の医療介護サービスにより、地域住民の期待に応えています。病院では、「高齢者にやさしい病院」を掲げ、民医連の「QI事業（医療の質指標・改善運動）」や「退院前・退院後訪問」活動など、高齢者の健康とくらしを支える医療・介護・福祉の質の向上と連携強化に取り組みました。

②在宅医療や終末期について、くらしの学校（77名）では「考えよう終末期、書いてみようライフデザインノート」をテーマに学び交流しました。支部や班での学習も行われました。

③ISOの認証維持をはじめ、認定看護師の養成や家庭医を研修してきた医師の入職など、安全性と質の向上を図ってきました。病院では、入院患者の転倒事故の少なさ、摂食嚥下機能訓練率の高さ、入院患者の望む食事の提供等で全国に比べても高い指標となっています。水橋診療所でも、慢性疾患医療の充実にむけ病院の管理栄養士による栄養指導を始めました。

④医療介護の抑制政策のなかでも、地域に信頼される事業を提供し、組合員の利用促進と経営改善を進めながら、剰余を確保することができました。

⑤経済的社会的に困難を抱えた人たちの相談活動と生活支援に取り組み、「無料・低額診療事業」では、年間10人（実人数）の相談と利用がありました。

⑥病院や診療所への通院所の個別送迎をすすめ、年間で延べ、5,811人（前年比109.7％）が利用されています。買い物に困っている方たちの支援のため、コープとやまの協力で、移動販売車の利用が和合地域に加え三郷地域でも実現できました。組合員の助け合いによる買い物班会も3班で取り組まれています。

⑦医療生協の機関紙や宣伝活動を通じて、今年も富山民医連の医学部奨学生が誕生しました。引き続き確保が困難となっている看護師や介護職など組合員の紹介運動の強化が求められています。

⑧病院に病棟ボランティア「オリーブの会」が結成され、シーツ交換などの活動が始まりました。また、全介護事業所においても新しいボランティアさんを増やしながら活動を続けています。

⑨内部統制（業務が常に適正に執行されるための仕組みづくり）の整備は進みませんでした。

2 「地域まるごと包括ケア」に対応した、自立した豊かな支部活動を展開すること

地域まるごと健康づくり

①健康チャレンジャーは、1,500人を目標に、4自治体で後援を受け、923人が登録し480人が達成されました。キッズチャレンジでは、4小学校（富山市、高岡市、立山町）や学童クラブ（2ヶ所）、保育園と幼稚園（4ヶ所）へ申し入れ、つながりが広がりました。世界保健デーや禁煙デー、バレンタイン行動に取り組み、ブロック毎のウォークイベントには347人が参加しました。

②地域の保健力・介護力を高めるために、東ブロックでは保健係り養成講座（13名が誕生）を開催し、他4ブロックでも保健教室（128名）で医療生協の健康習慣等を学びました。富山市豊若町長寿会では富山医療生協版の「医療情報救急キット（お薬手帳）」の購入と普及が始まりました。健康づくり委員会は、今年も富山市保健センターと健診や健康づくり活動について懇談を行いました。

③「すこしお生活」の普及・実践では、尿塩分チェックの班会や塩分味覚チェック、減塩調理の工夫と、減塩スプレーや塩分計の普及に取り組みました。「あいうべ体操」に取り組んだ小学校からは、今年もインフルエンザの予防効果の実績が報告されました。

④地域に健康づくりを広げる「まちかど健康チェック」は、新たな大型店舗やスーパー銭湯にも広がり、33支部103回実施し生協加入にも繋がっています。健康チェック数は班会を含め延べ17,028回になりました。

⑤健康班会では、シルバーリハビリ体操や笑いケア体操、大腸がん検診の集いなどが好評です。また認知症予防の「脳いきいき班会」は36班で、団塊世代向けの企画は、とよた南支部、奥田支部、南ブロックなどで取り組まれました。

支え合いのまちづくり

①　一支部一居場所づくりでは、居場所の定義（定例・誰でも参加できる・組合員以外にも周知されている）を提案し、堀川南太田支部での組合員宅でのサロン、事業所を使ったひまわりカフェなどが始まりました。

・協同組合間や行政等との連携では、高岡支部が地域の健康づくり推進懇話会と協力し、となみ野支部も地域包括ケア団体として自治体の生活支援コーディネーター交流会に参加しました。県生協連主催の認知症サポーターステップアップ講座（特殊被害対策）にも取り組みました。コープとやまと協力して作成した「見守り活動マニュアル」を虹のまち配付者に配って活用を呼び掛けました。

・地域包括支援センター訪問は、27支部で実施し「たすけっとクラブ」のお知らせや地域の課題について懇談しました。

②「たすっけとクラブ」は、4ヶ所で説明会を開催（57人参加）しました。地域包括支援センターからの依頼が増え、活動回数は延べ1,962回（前年比1.5倍）になりました。コーディネーターは38支部41名、協力者370名、利用者400名となっています。「たすけっと」を通じての生協加入は47名になりました。また、「コープリフォーム」との連携も進みました。

③「つながりマップ」はモデル地域として、高岡支部伏木地域で取り組みました。マップづくりは地域やくらしの課題や生協が果たす役割について話し合う道具となりますが、進め方についての工夫も必要です。

・県「地域包括ケア活動実践団体登録」を活用した医療生協の活動の「見せる化」や自治体との連携は、進んでいません。

④大規模震災時の自治体や保健行政とも連携した救急対策についての検討は進みませんでした。

介護予防・日常生活支援総合事業の取り組み

生協として日常的に取り組んでいる健康づくりや見守り活動は、介護保険給付が困難となる人達への「生協らしい総合事業」（地域包括ケア）にとっても大変有効な活動です。適宜協議を進めていますが、富山市の対応もまだ不十分で、総合事業としての具体的な実践には至っていません。

3 医療生協への加入は「安心のネットワーク」と言える質・量をめざすこと

①ブロックでの行事が主体的に開催されるようになり参加者も増えています。支部合同でブロックでの統一行動なども計画されました。水橋支部の分割と東部地域での支部づくりは引き続き準備中です。

②仲間増やしは、1,000名（実増157名）に留まりましたが、支部での物故者訪問は、次世代への引き継ぎを推進している結果となっています。

③出資金増やしは、6,524万円が集まりました。増資延べ件数は前年比253件増の4,148件でしたが、大口の減資もあり実増は80万円でした。日常的に幅広く気軽に増資を訴える為の「増資申し込み封筒」が作成され積極的に活用されています。

④担い手づくりでは、新配付協力者が34人増え、配付協力者は1,509名1,781コースとなり、毎月19,000名近くの組合員に「虹のまち」が手配りされています。

⑤ブロック単位での支部主体の活動が強化され、多彩な企画に参加する組合員も増えています。

⑥機関紙「虹のまち」は10月より片面カラーとなり、読みやすくなったと好評です。事業所ニュースやホームページの更新と活用では、まだ課題を残しています。

4 「いのちの章典」を実践する人づくりをすすめること

①職員と組合員がともに学び成長できるように、班会への職員参加だけでなく、事業所企画（学習会や研修会など）への組合員参加にも取り組み、有益な意見交換ができました。

②通信教育は、全員修了をめざしましたが、300名の目標に対して、211名受講170名修了に留まりました。

③医福連の教育月間や「いのちの章典ガイドライン」の計画的な取り組みはできませんでした。

5 憲法が活きる平和な社会をめざし、学び・広げ・連帯すること

①安全保障関連法（戦争法）廃止を求める学習や署名に取り組み、6,733筆が集まりました。

②社会保障の改悪を許さず、充実を求める署名は687筆集まりました。バレンタイン行動に取り組み、健康相談会や支部の新春のつどい等で、社会保障制度や介護保険制度の「改正」の危険な内容について知らせると共に、社会保障の充実を求める署名も集めました。

③「戦争法」廃止、憲法を守り活かし「改正」させない取り組みでは、水橋地域や病院職員等による国道8号線での毎週のスタンディングを継続しています。他団体主催の学習会等へ積極的に参加を呼びかけました。

④熊本地震被災支援を行い、また東日本大震災への支援を継続し原発ゼロをめざしました。

・熊本地震支援や福島医療支援として、医師・看護師の派遣を行いました。

・震災復興支援企画と位置づけて、「怒る富士」公演に取り組み、医福連を通じて46万円を送りました。また物資販売による利益から10万円を、その他被災3生協の健康まつりに特産品などを送り協力しました。

・富南支部では浜通り医療生協の「福島の今」DVDをみて学習しました。

・原発再稼働反対署名243筆。被災者住宅再建拡充署名616筆にも取り組みました。

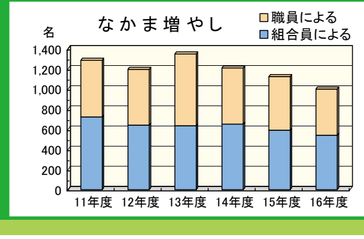
⑤平和や核兵器廃絶にむけて、原水禁世界大会、日本母親大会への代表派遣、平和行進（約200人）に取組みました。環境問題では、県生協連主催海岸クリーン作戦に16名が参加しました。富南支部、堀川南支部、南部支部では合同で「平和を考えるつどい」に取り組みました。

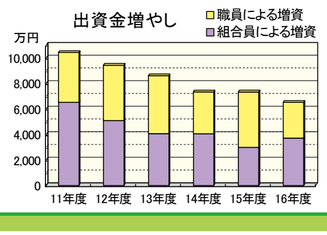
⑥沖縄・辺野古基地問題は民意に沿った政策を求め、職員派遣など民医連とともに取り組みました。

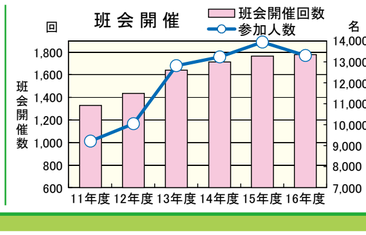
●組織課題（2016年度）

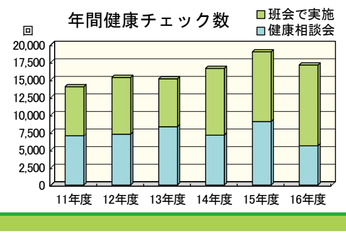
課　題	到達／目標	課　題	到達／目標
仲間ふやし	1,000人/1,500人	新班づくり(含む再開)	28班/102班
出　資　金	65,242千円/1.5億円	支部設立・分割	0支部/2支部
増資実人数	3,682人/5,000人	運営委員・サポーター	355人/380人
班　　会	1,779回/1,800回	班会参加数	延べ13,117人
班会開催班	211班/301班	配付コース	1,781(内新34)

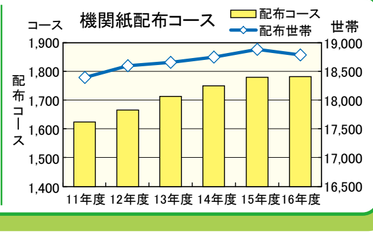
2016年度の活動状況











2017年度の活動のすすめ方

協同の力で、いのちとくらしを支える事業と運動を創り上げよう！

3つのつくろうチャレンジを進めながら「医療福祉生協の地域包括ケア」を実現しよう

つながりマップづくり　居場所づくり　豊かで主体的な支部づくり

2017年度 方針

わたしたちをとりまく情勢

①日本国憲法をないがしろにした「安全保障関連法」（戦争法）の強行成立以降、沖縄の新基地建設や南スーダンへの自衛隊（PKO）派遣、「テロ等組織犯罪準備罪」（「共謀罪」）の新設など、立憲主義を否定した憲法「改正」の動きが一層強まっています。

②社会保障分野では、国が「我が事・丸ごと『地域共生社会』」という新たな概念を打ち出し、公的責任を後退させながら、「自立・自助」の「自己責任」を押し付けています。孤立と貧困の一層の拡大が懸念されています。国や自治体の公的責任を明確にしながら「住民本位の『医療福祉生協の地域包括ケア』」を実現していく上で、医療福祉生協の事業と健康づくりやまちづくりの運動が果たす役割は大きく、着実にその存在感を増しています。

③世界の協同組合運動がユネスコの世界無形文化遺産に登録され、国際的にも高く評価されました。

④戦争法の廃止と立憲主義の回復を求める「市民連合」の動きが全国各地に広がり、地方政治でも貴重な成果を上げています。富山市議会での、議会改革や子ども医療費の「窓口負担完全無料化」の実現など、住民の声を議会に届け、社会保障制度を充実させることは組合員の要求実現の確かな保障です。

医療福祉生協の理念

健康をつくる・平和をつくる・いのち輝く社会をつくる

重点課題

(1) いのちとくらしを支える事業基盤をつくりあげます。
(2)「医療福祉生協の地域包括ケア」に対応した、豊かな支部活動・事業活動を展開します。
(3) 医療生協への加入は「安心のネットワーク」と言える質・量をつくります。
(4) 憲法が活きる平和な社会をめざし、学び・広げ・連帯します。
(5) 中期計画（2017-2019）を策定し、事業に着手します。

1 いのちとくらしを支える事業基盤をつくりあげます。

○事業所は、疾患の状態にみあった医療の提供や、認知症・在宅での看取り・生活支援のリハビリ機能など、その人の日々の生活に応じた（連続した）医療介護サービスを強化します。また、軽度や介護予防を含め、組合員・地域住民とともに患者・利用者を地域（くらしの中）で支える取り組みを進めます。

○安全性と質の向上に引き続き取り組みます。
・「プライマリ・ケア」と在宅医療介護の強化を図ります。
・医療・介護・福祉の連携を強化するとともに、医療介護施設からの受け皿ともなる住宅事業にも取り組みます。

○地域に信頼される医療・介護・福祉の事業を

検討・提供し、組合員の健康づくりと利用促進を図り、経営改善を進めながら的確な収支バランスをとって必要利益を確保します。

○無料・低額診療事業など、経済的社会的に困難を抱えた人達への相談と支援を広げます。

○医療介護従事者の確保と育成に組合員の力を発揮します。

2 「医療福祉生協の地域包括ケア」に対応した、豊かな支部活動・事業活動を展開します。

地域まるごと健康づくり

○健康チャレンジは、自治体や学校への働きかけを強め1,500名参加を目標に大きく広げます。

○健康づくりの担い手を増やし地域での保健力・介護力を高める各種講座や学校を開催します。

○「フレイル（高齢者虚弱）予防」と「すこしお生活」の普及・実践をすすめます。

○要求にあった「健康班会」や「お試し・お誘い班会」を全ての班で開催します。

○まちかど健康チェックを全支部で実施するなど、健康づくりをとおして明るいまちづくりに寄与します。

○健康診断をすべての世代にすすめ、特に地域（班会・集いなど）での大腸がん検診は350名を目標に取り組みます。

支え合いのまちづくり

○ひとりぼっちをつくらない、認知症になっても住み続けられる、災害に備えるまちづくりを進めます。
・地域の公民館、個人宅なども活用した「一支部一居場所づくり」にチャレンジします。（居場所：誰でも参加できる、周知されている、定期的に開かれている）
・地域包括支援センターとの懇談を続け、認知症サポーター養成講座等協力して取り組みます。
・こども、親子の交流企画（探検隊）などに取り組みます。
・「地域での見守り活動推進実行委員会」（コープとやま主体）に参加し、高齢者の特殊詐欺被害防止のため、学習と地域での見守り活動を広めます。

○「たすけっとクラブ」は、コーディネーターの力量アップをはかりながら、生協の支部活動とともに発展強化します。

○医療生協らしい地域包括ケアを実現するための取り組みを行います。
・3つの「つくろうチャレンジ」で地域の連携づくりや課題の解決に取り組みます。
・医療生協の活動の「見せる化」を工夫し、自治体や地域の団体に事業と活動を知らせます。

○自治体や保健行政とも連携して大規模震災支援や対策強化をはかります。

介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）へのチャレンジ

○住みなれた地域で安心してくらし続けたいという組合員・住民の願いに応えて、ミニデイサービスや見守り、生活支援など、新しい総合事業を検討着手します。

3 医療生協への加入は「安心のネットワーク」と言える質・量をつくります。

○顔の見える生活圏域での支部づくりにむけ、支部の分割やブロック活動を強化します。

○仲間増やしは、世帯比率を意識した目標を立てましょう。仲間増やしこそすべての活動に共通する柱と位置づけ“医療生協があってよかった”と言える組織にします。

○出資金増やしは、多くの参加を訴え、中期計画実現の初年度にふさわしく取り組みます。

○担い手である、運営委員、配付係、「たすけっとクラブ」協力者、保健係、くらしの相談員、事業所ボランティアなど、組合員が活躍できる機会と場所づくりを積極的につくりましょう。

○ホームページ、機関紙「虹のまち」、事業所ニュース、虹のネットワーク、コムコムのさらなる有効活用を図ります。

○「いのちの章典」を実践するひとづくりを進めます。

	2017年度目標	2016年度実績
仲間増やし	1,300名	1,000名
出資金増やし / 出資実人数	15,000万円 / 5,000名	6,524万円 / 3,682名
班会	287班 1,800回	201班 1,779回

4 憲法が活きる平和な社会をめざし、学び・広げ・連帯します。

○社会保障の後退をやめさせ、一層の充実を求めます。

○日本国憲法を守り活かし、「改正」を許さない取り組みを強めます。

○東日本大震災復興支援を継続し、原発ゼロをめざします。

○核兵器禁止をめざす「ヒバクシャ国際署名」に取り組みます。

○沖縄・辺野古基地の移設に反対し、民意に沿った政策を求め、連帯を続けます。

○くらしの学校、保健講座、ボランティア学校など、ニーズに合わせた“学ぶ場”を積極的につくります。通信教育や生協学校など、職員と組合員が共に学べる場をつくります。

5 中期計画（2017-2019）を策定し、事業に着手します。

「地域包括ケア時代」とも称される少子高齢化や社会保障制度の後退など、くらしを取り巻く環境や社会情勢が大きく変わる中でも、富山医療生協は、組合員のいのちとくらしを守り、生涯を通じて最良のパートナー（かかりつけ機能）としての医療介護福祉の事業をめざします。

そのための中期的な事業計画を組合員とともに策定します。

■総代会後の主な組合員活動内容

7月	22：平和納涼まつり　23：富山県母親大会
8月	原水爆禁止世界大会（長崎）　19-20：日本母親大会（岩手） 6-7：医福連中部ブロック組合員交流会（婦中いこいの村）
9月	24-25：東海北陸地協共同組織活動交流集会（福井）
10月	WHO世界と歩こうウオーキング　水橋健康まつり　富山診療所健康まつり 協立病院まつり　23：パークゴルフ大会　29-30：日本高齢者大会
11月	ブロック健康教室（4会場） 保健講座（北A）
1月	くらしの学校
2月	虹のバレンタイン行動
3月	3：組合員のつどい

虹の出会い月間

貸　借　対　照　表

2017年３月31日現在（単位：円）

資産の部	期末残高	負債及び資本の部	期末残高
Ⅰ．流動資産	1,093,225,336	Ⅲ．流動負債	503,684,332
現金・預金	452,482,213	短期借入金	130,000,000
医療未収金	558,325,392	長期借入１年以内償還	113,580,000
貸倒引当金△	3,700,000	短期リース債務	20,850,480
棚卸資産	14,905,082	買掛金	97,901,144
仮払金	693,600	未払費用	48,555
未収金	32,393,649	預り金	15,541,915
前払費用	15,535,464	出資預り金	4,426,032
立替金	158,188	賞与引当金	76,413,994
繰延税金資産	22,431,748	未払消費税	3,357,500
仮払消費税	0	未払法人税等	23,547,087
Ⅱ．固定資産	2,251,008,965	未払い金	18,017,625
(1) 有形固定資産	1,668,194,995	Ⅳ．固定負債	1,324,020,041
１．建物	2,053,594,753	長期借入金	255,042,000
減価償却累計額△	1,216,221,005	組合債	7,830,000
２．建物付属設備	1,618,406,161	組合債預り金	0
減価償却累計額△	1,469,978,920	退職給付引当金	1,027,304,316
３．建物造作	0	役員退職慰労引当金	11,600,000
減価償却累計額△	0	リース負債	22,243,725
４．構築物	195,338,964	負債合計	1,827,704,373
減価償却累計額△	171,441,137		
５．医療機械	820,038,661	Ⅴ．出資金	950,256,000
減価償却累計額△	732,966,800	組合員出資金	950,256,000
６．器具備品	304,450,057		
減価償却累計額△	289,541,571	Ⅵ．剰余金	566,273,928
７．リース資産	139,003,200	(1) 法定積立金	132,150,000
減価償却累計額△	97,961,100	法定準備金	132,150,000
８．土地	515,473,732		
９．建設仮勘定	0	(2) 医療福祉等積立金	392,000,000
(2) 無形固定資産	15,394,986	医療福祉等積立金	392,000,000
借地権	9,710,428		
水道加入権	93,322	(3) 任意積立金	37,000,000
水利権	238,141	別途積立金	0
パソコンソフト	5,353,095	役員退職慰労積立金	0
(3) その他固定資産	567,418,984	生協会館建設準備金	37,000,000
関係団体出資金	6,615,000		
敷金	11,140,731	(4) 当期末処分剰余金	5,123,928
差入保証金	37,000	前期繰越剰余金	2,663,287
奨学金	37,263,000	当期剰余金	2,460,641
保険積立金	219,956,877	役員退職慰労積立金取崩	0
長期前払消費税	6,707,690	資本合計	1,516,529,928
長期繰延税金資産	285,698,686		
資産合計	3,344,234,301	負債及び資本合計	3,344,234,301

2017年度決算報告

《損益計算書》

自2016年４月１日～
至2017年３月31日　（単位：円）

《事業収入》	3,499,803,423
医療収入	2,548,684,031
外来収入	1,047,781,610
入院収入	1,335,748,680
訪問看護	48,850,644
健診収入	121,775,138
無低診生協負担　△	383,931
保険査定等　△	5,088,110
介護収入	937,702,198
訪問看護	87,388,748
通所介護・リハビリ	464,589,691
訪問介護	95,161,244
訪問リハビリ	14,318,847
短期入所介護	84,201,760
看護小規模多機能	26,571,447
居宅支援	116,422,627
療養指導他	24,085,085
地域包括支援センター	26,418,734
保険査定等　△	1,455,985
福祉収入	9,817,999
保育補助金	3,424,366
保育料	4,382,771
その他	2,010,862
福祉付帯事業	3,599,195
《事業費用》	3,453,617,256
医療材料費	276,052,964
医薬品費	129,501,365
治療材料費	137,087,551
給食材料費	9,464,048
一般管理費	3,177,564,292
人件費	2,453,881,000
委託費	241,891,860
物件費	310,569,643
リース料	45,848,721
減価償却費	125,373,068
《事業剰余金》	46,186,167
【事業外収入】	32,734,387
受取利息他	94,793
補助金収入	0
貸倒引当金戻入	3,800,000
雑収入	28,839,594
【事業外費用】	73,709,549
支払利息	3,275,950
組合債利息	55,379
雑損消費税	62,461,177
長期前払消費税償却額	3,452,708
貸倒引当金繰入	3,700,000
雑損失	764,335
《経常剰余金》	5,211,005
【特別利益】	0
その他	0
固定資産売却益	0
【特別損失】	1,266,658
固定資産除却損	140,710
貸倒損失	1,125,948
その他	0
《税引前剰余金》	3,944,347
【法人税等】	23,540,000
【法人税等調整額】	22,056,294
《当期剰余金》	2,460,641
【前期繰越剰余金】	2,663,287
《当期未処分剰余金》	5,123,928

《剰余金処分》

（単位：円）

Ⅰ．当期未処分剰余金		5,123,928
Ⅱ．当期剰余金処分額		
１．法定準備金	4,800,000	
２．医療福祉等事業積立金	0	
合計	4,800,000	
Ⅲ．次期繰越剰余金		323,928

注　記　１．次期繰越剰余金は、教育事業等繰越金です。
２．法定準備金は赤字になった時に備えるものであり、教育事業等繰越金は教育事業の費用にあてられるものです。生協法及び定款では、出資総額の２分の１に相当する額に達するまで、毎事業年度の剰余金の１０分の１以上を法定準備金として積み立て、２０分の１以上を教育事業等繰越金として繰り越さなければならないことを定めています。

《2017年度　予算》

自2017年４月１日
至2018年３月31日　（単位：千円）

Ⅰ．事業収入		3,572,500
医療事業収入	2,607,500	
介護事業収入	951,500	
福祉事業収入	10,000	
福祉付帯事業収入（運送）	3,500	
Ⅱ．事業費用		3,493,850
医療材料費	277,350	
一般管理費	3,216,500	
事業剰余金		78,650
Ⅲ．事業外収入		36,000
Ⅳ．事業外費用		69,650
経常剰余金		45,000
Ⅴ．特別利益		0
Ⅵ．特別損失		5,000
税引前剰余金		40,000
法人税等　△		25,000
法人税等調整額		20,000
当期剰余金		35,000

＊役員報酬は、総額42,070千円を限度として人件費に計上しています。

監　査　報　告　書

私たち監事は、2016年4月1日から2017年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1.監査の方法及びその内容

各監事は、他の監事と意思疎通・情報の交換を図るほか、監査方針等に従い、理事・職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査環境の整備に努めました。理事会その他重要な会議に出席し、また、日常監査の常態化させ、担当監事により、年間を通じて各事業所・部署等の監査を行いました。今後は特に医療未収金の管理状況を中心テーマとして、関係する理事・職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。これに対応して監事会を3か月ごとに開催し、医療未収金について、問題点や改善方向を上半期の業務監査に集約し、理事会に具体的に報告しました。

このほか、重要な決裁書類等を閲覧し、本部等において業務及び財産の状況を調査いたしました。このような方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿並びにこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）及びその附属明細書について検討いたしました。

2.監査の結果

（１）事業報告書等の監査結果

①　事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。

②　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（２）決算関係書類（剰余金処分案を除く）及び附属明細書の監査結果

決算関係書類（剰余金処分案を除く）及び附属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（３）剰余金処分案の監査結果

剰余金処分案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2017年５月25日　　富山医療生活協同組合

監事　藤田　康雄　　中田　幸子　　古沢　恭子

クロスワードパズル五月号の解答ハガキより

無理なく作れるレシピを

富山市西新庄　柳瀬　鏡子さん

五月号掲載の春野菜とサバ缶のサラダ丼は私にも簡単に作れました。今後も無理なく作れるレシピを楽しみにしています。

繰り返し練習

富山市三室荒屋　大角　隆さん

健康長寿と運動の記事をいつも見ています。とくに腹筋トレとフラミンゴは参考になり、実際にやってみて、最初は難しかったのですが、繰り返して練習して、どうやらできました。

他人事とは思われない

富山市諏訪川原　北村　健二さん

「虹のまち」五月号一面に掲載されていた「健診の大切さを実感した」は他人事とは思われませんでした年に一度の健診を必ず受けるようにしたいものです。

水銀体温計の思い出

富山市柳町　桑島　龍三さん

水銀血圧計回収の記事をみて、昭和一桁生まれの我々には熱が出た時水銀体温計で計り、落とした折、水銀がつかめにくかった事を思い出しました。危険なものとも知らず。

政治家は何を考えているのか

富山市岩瀬赤田町　藤澤　愛子さん

核兵器禁止条約交渉会議に唯一の被爆国が不参加とは！国民の生活を守らなければならない政治家は何を考えているのか理解できません。

地域のとりくみの見せる化

富山市四方　志甫　禮子さん

つながりマップで地域のとりくみの「見える化」から「見せる化」へ、とてもいい取り組みです。私たちも見せる化への活動をしたいと思います。

班会は楽しい

富山市道正　下田　律子さん

私の今の楽しみは、地域の班会へ参加する事です。

季節恒例の山菜採りは楽しかったし、山菜料理は美味しかった！思い出しながら農作業に精を出しています。何よりも、健康で動ける事に日々感謝しています。

医療職をめざす高校生の皆さん　夏の高校生医療体験

ぜひ一度体験にきませんか？

富山医療生活協同組合では、富山協立病院、富山診療所、水橋診療所で医療体験を行います。

期　間：医師・薬剤師体験→**8月2日㈬・3日㈭・4日㈮**
看護師体験→**8月3日㈭～10日㈭、8月22日㈫～24日㈭、8月29日㈫・30日㈬**
※看護師体験の定員は１日６名までです。

対　象：医師・薬剤師・看護師など医療職を目指す高校生

内　容：医　師：訪問診療、血圧測定、医師との懇談など
看護師：清拭介助、シーツ交換、病棟看護体験など
薬剤師：調剤実習、入院服薬指導、在宅指導など
※それぞれの職種や日程に応じて体験内容は変わります。

お問い合わせ先
富山協立病院　医学生担当　橋本まで　☎ 076-433-1077

夏休みの自由研究に！

いのちの病院探検隊

不思議いっぱいの病院を探検してみませんか。保護者の方の参加も大歓迎です。

日時：**8月1日㈫・8月8日㈫** 午後2時～ 4時
場所：富山協立病院にて
対象：小学校３年生以上
内容：車イス体験や病院のお仕事見学など

夏休み親子ほけん学校

CO・OPとやま共催

日時：**７月25日㈫** 午後2時～ 4時
場所：富山協立病院　東３階会議室
対象：小学生以上の親子（定員20名）
内容：手のばい菌を調べる・おやつ作り、ほか

お問い合わせ・お申込みは
富山協立病院事 務長室
☎ 076－433－1077（担当 土肥まで）

無料法律相談のご案内

春山然浩（のりひろ）弁護士（富山中央法律事務所）
時間は午後２時～４時
・８月24日（木）
・９月21日（木）
・10月19日（木）
予約してください
場所　富山協立病院地域連携室
◎お申込・地域連携室　☎076-444-5708

日曜検診のお知らせ

平日は忙しいという方むけの検診です。
検診を受けたいが平日は忙しくてできない。そういう方々のご要望にお応えして日曜日検診を行います。

婦人科検診

内　　容：乳がん検診、子宮がん検診
検 診 日：10月1日（日）、12月3日（日）
時　　間：乳がん8：30 ～、子宮がん9：00 ～
※両日ともに先着順になりますのでお早めにお申し込み下さい。

胃カメラ検査

内　　容：がん検診
検 診 日：8月6日（日）、9月3日（日）、10月1日（日）
11月5日（日）、12月3日（日）
時　　間：9：00 ～

いずれも事前に予約が必要ですので、まずはお問い合わせ下さい。
お問い合わせ・申込みは
富山協立病院健康支援センター　☎076-444-5684

富山医療生活協同組合は、ご家族みなさんの健康を応援します！

お詫びと訂正

シンニユウセイ（新入生）

シ	マ	イ	■	ニ	ラ
セ	■	キ	シ	ユ	ク
ツ	イ	ジ	ユ	ウ	■
■	チ	ビ	■	シ	カ
ヨ	リ	キ	リ	■	ン
セ	ン	■	カ	シ	ユ

6月号掲載の４月クロスワード解答シンニュウセイ」に誤ったパズル図の添付がありました。訂正しお詫び申し上げます。

平和のつどい　子どもと一緒に平和を考えよう!!

日時：７月29日（土）午前10時～ 12時
場所：サンフォルテ　ホール
内容：「被ばく体験について」
「親子で折鶴体験」など

ご家族で、友人とどなたでも参加できます。
お誘い合わせてぜひご参加ください。

主催：富山県生協連　環境平和委員会
お問い合わせ：医療生協　組織部 076－441－8351

クロスワードパズル

【問題】

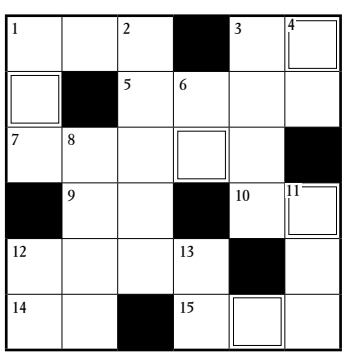
カギを解き、二重ワクに入る文字を並べ替えてできる言葉は何？

★ たてのカギ ★

①世話になった先生
②城を兼ねた砦
③――に故人の名を刻む
④いっ○○法師
⑥オモテの対
⑧鶏を飼育すること
⑪――直送の野菜
⑫外野の○○がうるさい
⑬その罪人は○○流しの刑に処された

★ よこのカギ ★

①王の息子
③お釈迦様のまわりに咲く○○の花
⑤西洋風の建物
⑦未来。――に期待する
⑨○○晴らし
⑩それとなく教える。○○に富む話
⑫――に水
⑭辞職の意向。○○を表明
⑮土地、家屋の正面の幅



転居先を必ず連絡して下さい。住所・電話番号の変更や家族の変更がありましたら、生協本部まで連絡下さい。

【応募方法】

パズルの解答・住所・氏名・年齢と、虹のまちの紙面や医療生協へのご意見・ご要望などがありましたら併せて明記の上ハガキ、又は富山医療生協ホームページ（一面右上に記載）の「お問合せ」メールにてご応募下さい。

尚、虹のまちに掲載させて頂く事がありますのでご了承下さい。

【あて先】

〒九三一－八五〇一富山市豊田町一－一－八　富山医療生協「虹のまち」パズル係

【賞品】

正解者の中から十名の方に五百円分の図書カードを贈呈

【しめきり】

七月末日の消印有効

【五月号の解答】

今回は解答を2通りとします
シンリョク（新緑）
ショクリン（植林）

ハ	イ	カ	■	キ	ト
ツ	■	イ	シ	ヨ	ク
ケ	イ	リ	ユ	ウ	■
■	シ	ヨ	■	シ	リ
ジ	ヨ	ウ	シ	■	ン
コ	ウ	■	バ	ン	ク

応募１２９通　正解１２４通

【五月号の当選者10名】敬称略

石黒　久代（滑川市曲渕）
今家　喜敬（滑川市有金）
木下　育夫（富山市本郷町）
清都　隆（砺波市高波）
土畑　節子（高岡市伏木古府）
成田　涼子（富山市水橋中村）
樋口　貞勝（滑川市荒俣）
四十物幸子（富山市安田町）
峰尾　賢（富山市中島）
山本　逸哉（富山市東田地方町）

おめでとうございます